

2024年度 第3回 公立大学法人埼玉県立大学教育研究審議会 議事録

1 開催日

2024年6月3日(月)

2 開催方法

WEB会議

3 参加者

星議長、磯田委員、伊藤委員、林委員、金村委員、東委員、常盤委員、濱口委員、田中委員、國澤委員、山崎委員、久保田委員、河村委員、廣渡委員、野中委員
オブザーバー参加: 田口学長補佐兼専門職連携教育研修センター、延原情報センター長、北畠地域連携センター長、滑川保健センター長

4 事務局

長岡副局長、濱口財務担当部長、酒井施設管理担当部長、小原教務・入試担当部長、今村学生・就職支援担当部長、中野研究・地域産学連携担当部長、篠原企画・情報担当部長

5 議事概要

【議事録確認】

議長から前回の議事録が提示され、内容について確認された。

【審議事項】

(1)教育の内部質保証の実施に関するガイドライン(案)について

資料に基づき、東高等教育開発センター長から説明があり、案に加え以下事項を検討することで承認された。

- 内部質保証における教員体制について、例えば、学生に対してどのようなレベルで指導をしているのか、また所持資格をどのあたりまで求めていくのか、また、非常勤講師やゲストスピーカー、ティーチングアシスタントなどをどのように整備、評価していくのかが課題になるのではないか。
→ 重要な事項のため、追記を検討する。
- 教育成果の期限について、例えば就職後〇年目までを教育成果として捉える、などと区切る必要があると思うが、いかがか。
→ 学修成果・授業評価アンケートとGPAの両輪で学修成果の把握を進めていく。これは内部質保証のガイドラインのため、長期的な計画については盛り込んでいない。
- 外部の方に取り組みを知っていただくため、HPで公開した方が良いのではないか。

→ 内部質保証の方針を公開しているので、それに紐づく形で掲載するのが良いと考えている。

○ ガイドラインの内容をルーティーン化して実行していくために、センターや学部・学科などの関係機関から各教職員までしっかりと周知をする必要があると思うが、どのように行っていくのか。

→ いろいろな場面で話題にすることが良いと考えている。教務委員会で取り上げたり、高等教育開発センターフォーラムや EDC.Info などを通じて広げていきたい。

○ ルーティーン化を目指すために、例えば、高等教育開発センターが〇月に教育研究審議会に報告、各教員がこの作業を〇月に行うなど、年度の計画を作る必要があるのではないか。

→ 学修成果・授業評価アンケートの結果や GPA の状況を夏までに集計を終えて教育研究審議会で報告し、その後はまた次年度に向けての取り組みを進めていく、というサイクルを想定している。これもガイドラインに追記するよう検討する。

○ 大学院においても、e-ポートフォリオやルーブリックの活用を検討しているところで、例えば e-ポートフォリオについて、論文や学会発表だけでなく今までの学修や研究の成果すべてを保存・評価していくのはどうかと考えている。これを行うにあたっては、WebClass の機能・容量が不足するため、onedrive や box を活用していくことが必要だと考えているが、どう思うか。

→ WebClass の e-ポートフォリオやルーブリックの機能に限界があることは承知しており、課題としては認識しているが、議論まではできていない。WebClass を改修するのか、box 等の新しいシステムに切り替えるのか、情報を集めているところ。学生や院生など、実際に使用する方の意見を聞く場を設けたいと考えている。

(2)令和5年度業務実績報告書(案)の提出について

資料に基づき、長岡副局長から説明があり、案のとおり承認された。

【報告事項】

(1)業績評価指標の推移について

資料に基づき、伊藤副学長から報告された。

(2)2023 年度卒業生の就職・進学状況について

資料に基づき、常盤学生支援センター長から報告された。

(3)次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画について

資料に基づき、林副学長兼学部長から報告された。